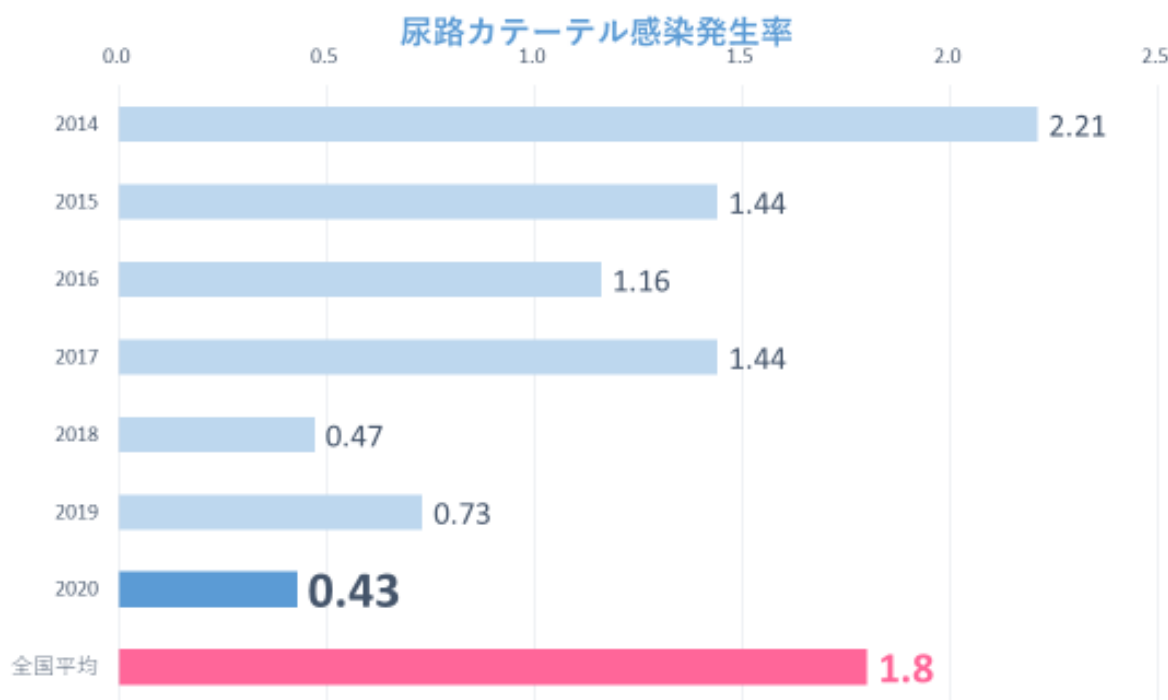


尿路カテーテル感染発生率

医療の質を評価する側面
Outcome



単位:%。(対1,000カテーテル使用日数)

参考:日本環境感染学会 医療器具関連感染サーベイランス部門 急性期一般病床
2020/07/01~2020/12/31データより

分子:尿路感染発生患者数

分母:入院患者における延べ膀胱留置カテーテル使用日数

尿路カテーテル感染発生率

医療の質を評価する側面
Outcome

項目の解説

膀胱留置カテーテルを使用する入院患者における、尿路感染と判定された患者の比率です。入院後に起こる尿路感染の約70~80%が膀胱留置カテーテル関連の尿路感染です。膀胱留置カテーテルの使用は必要最小限とし、カテーテルの使用を必要とする場合は挿入時や留置中に適切な予防策を確実に実施することが重要です。

2020当院データの分析

尿路カテーテル感染率は減少し近年は全国平均を大きく下回っている。

数値改善に向けた今後の取り組み

尿道留置カテーテルに関するカンファレンスを継続し、感染防止技術の向上に取り組む。